羽昨工高新聞

第137号

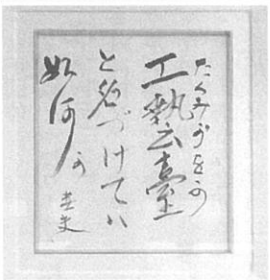
発行所
石川県羽咋市西釜屋町
石川県立羽咋工業高校
TEL (0767) 22－1193
編集兼発行
羽咋工高生徒会新聞部

古の地 羽咋 ～工藝台で学ぶ～

学校長　稲垣　裕

皆さんが、いつも声高らかに歌う校歌には
古の地に新しき
文化を産むと若人の
志見よ我らみな
國の内外に雄飛せん
と書かれている。「古の地」の由来を皆さんは知っているだろうか。私は、始業式で初めて校歌を聞いたときからこの「古の地」がなにに由来するものかと疑問に思っていた。

本校開校十周年記念誌「工芸台十年」によると、羽咋市に実業高校を誘致しようとする動きは羽咋町時代に芽生え、昭和三十三年七月の羽咋市発足とともに、高校教育の普及と地域産業開発の原動力となる人材育成を目的に活発化し、昭和三十七年四月一日に羽咋中学校羽咋教場を仮校舎として開校。現在の校舎の完成は、昭和三十九年三月、同年十一月に石川県知事をはじめ来賓約二百五十名を迎えて盛大に落成式を行った。当時の日本は、戦後の混乱期を脱し、高校生の急増期であり、産業構造の変革・生産方式の合理化・近代化を推進し、高度成長を遂げようとしており、科学技術者や技能者の養成が緊急を要する課題となっていたのである。



そして、校歌については、初代校長平野晶平先生が、昭和三十七年開校当初に芸術院会員であり、後に文化勲章受章者となられた佐藤春夫氏に作詞を依頼したところ快諾された。佐藤氏は七月に来県、本校建設地に立ち寄り、校地一帯の眺望に富む静閑な環境を絶賛、この高台を「工藝台」と名付けてはどうかと提案されるとともに、古の地と始まる校歌を作詞された。工芸台は本校の代名詞となっていると記されている。作曲は芸術院会員、文化勲章受章者の信時潔氏によるものである。

さて、「古の地」である。羽咋について、絵本「羽咋のむかしばなし」には次のように書かれている。この羽咋地方に悪い病気が流行り、滝町の岬の森には怪鳥が住んで人々を苦しめていた。そんな話が天皇に伝わり、盤衝別命を羽咋に向かわせた。その命は、怪鳥目がけて弓をひき、矢が命中した怪鳥は、もがき苦しみながら落ちてきた。そのときに、命の連れてきた三匹の犬が、怪鳥にかみつき羽を食いちぎった。それで、羽喰という地名がおこり、やがて羽咋になったとのことである。盤衝別命は、今から約二千年前の第十一代垂仁天皇の皇子であり、その頃から「はくい」という地名が存在していたことになる。また、万葉集には「波久比」、平城京から出土した木簡には「羽咋」、羽咋神社の社記には「羽喰」と記されているのである。

このように校歌には、羽咋の地二千年の歴史が刻まれていることがわかる。今一度、生徒諸君には校歌を読んで欲しい。校歌には、作詞者が、本校生徒に対して、「この歴史の深い羽咋の地で新しいことを学び、社会に貢献する工業人として高い志をもち、活躍すること、建学の精神である自律し、仲良く充実した学校生活を楽しむ」ことを願っていたことがわかる。さらに、本校の立地環境を讃え、「技芸に学業に人格に向上の途一すじを進まん我ら希望あり工芸台の春秋や」と、専門性の高い技術・技能と知識の習得と総合的な人間力の育成を期待していたのである。校歌は、皆さんが登校中に目にする前庭の石碑に佐藤氏の筆跡により彫られている。これは、昭和四十一年第二回卒業生から寄贈されたものである。また、ご本人直筆の校歌が、校長室に掲げられている。校門横には同じく佐藤氏の筆跡による「工藝台」石碑がある。これは、昭和四十三年第四回卒業生の寄贈によるものである。一度ゆっくりと見て、読んで欲しい。

生徒諸君は、校歌の作詞者佐藤氏・作曲者信時氏を知るとともに、お二人に感謝し、校歌に込められた思いを考え、大切に歌って欲しい。また、開校当時の歴史を理解し、開校から現在に至るまでの、地域からの期待に応えるべく建学の精神「自律・創造」を胸に資格取得を含めた学習、部活動、挨拶等にしっかりと取り組み、能登地区唯一の工業の専門高校として、自信と誇りをもって、より一層の高みを目指してもらいたい。

避難訓練

近隣住民との協力で 大規模な訓練を実施

七月八日(日)に地域共同避難訓練がおこなわれました。この避難訓練は八回目をむかえ地域の方々にも定着をしてきました。参加町内は釜屋町、大川町、柳田町の三町会で、誘導と介助を本校生徒の有志と職員で行いました。

羽咋市と羽咋消防署だけでなく、自衛隊も参加していただきました。

当日は町会から約二七〇名が訓練に参加しました。避難後、自衛隊から東日本大震災のDVDによるお話がありました。

また地震体験車などで、地震の揺れを体験できるコーナーもありました。このような日頃からの取組が、大切だと感じる行事になりました。

新任先生紹介コーナー

今年度からチーム羽工の一員になられた先生方の紹介です。

氏名　稲垣　裕
役職　校長
前任校　県立工業高校
趣味・特技　スポーツ観戦
羽工の印象　元気よく挨拶できる生徒が多い。

氏名　大森　久子
教科　国語科
前任校　志賀高校
趣味・特技　旅行・ドライブ・美術館めぐり
羽工の印象　元気な生徒が多いなという印象です。ですが、よくよく見ると、控え目ながら志を持った芯の強い生徒も少なからずいますね。

氏名　佐藤　篤志
教科　国語科
前任校　志賀高校・七尾高校
趣味・特技　読書・ゴルフ・野菜作り
羽工の印象　二五年前と比べるとおとなしくなったようだが、真面目な部分は変わっていませんね。

氏名　津梅　佑紀
教科　地歴・公民科
前任校　田鶴浜高校
趣味・特技　美味しい食べ物探し・韓国語
羽工の印象　元気いっぱい。ものまねは似ていませんが、たくさん元気をもらっています。

氏名　鍋島明寿美
教科　家庭科
前任校　なし
趣味・特技　映画鑑賞・旅行
羽工の印象　初めて羽工に来校したとき、出会う生徒みんながあいさつしてくれました。明るく、優しく、元気な印象です。

氏名　田畑　武志
教科　保健体育科
前任校　県教育委員会　保健体育課
趣味・特技　温泉・入浴・剣道
羽工の印象　素直で明るい生徒が、非常に多い印象です。

氏名　小倉翔太郎
教科　工業科・電子機械科
前任校　小松工業高校
趣味・特技　漫画・水泳
羽工の印象　挨拶はしっかりできるし、校歌は大きな声で歌うし、素晴らしいですね。

前期生徒会執行部決まる

四月一六日(月)、前期生徒会役員選挙がおこなわれました。信任投票となり、全員が信任されました。

二日後の四月一八日(水)に校長室において、稲垣学校長から任命書が手渡されました。学校長から激励の言葉をいただきました。各種行事や一日一善運動、前期生徒会最大の行事である羽工祭にむけて、気持ちを新たにしていました。

前期生徒会執行部
会　長　山崎　恵蔵(31H)
副会長　篠田　祐真(31H)
副会長　山崎　碧子(33H)
書　記　仕入　柚奈(33H)
会　計　辻　貫太(31H)
文化委員長　濱　蒼一(32H)
体育委員長　中村　一翔(32H)

氏名　袖野　貴義
教科　工業科・建設造形科
建築コース
前任校　小松工業高校
趣味・特技　木工（三月に孫のために作ったドールハウス。孫が楽しそうに遊んでくれてうれしい。）
羽工の印象　新任式で校歌の声の大きさに驚いた。前任校もあいさつは良いと思っていたけど、羽工は最上級だと思います。

氏名　坂本　裕平
教科　工業科・電気科
前任校　穴水高校
趣味・特技　ラーメン屋巡り・卓球動画を見ること。
羽工の印象　元気で明るい。すべてのことにおいて一生懸命頑張っている。

氏名　向　啓子
役職　事務長
前任校　羽松高校
趣味・特技　ショッピング
羽工の印象　気持ちの良い挨拶ができる、元気な高校生らしい生徒だと感じる。

氏名　村上　拓
部署　事務部
前任校　七尾東雲高校
趣味・特技　旅行
羽工の印象　元気・明るい・真剣。

氏名　松田三千子
部署　事務部
前任校　なし
趣味・特技　スキー・ケーキ作り・DIY
羽工の印象　礼儀正しく爽やか。資格取得に部活にと、とても頑張っているイメージです。

氏名　迎　則子
部署　事務部
前任地　羽咋市立粟ノ保保育所
趣味・特技　ラジオ・音楽を聴くこと。
羽工の印象　とても好印象を持っています。以前は犬の散歩が日課で自転車道路を通ると、すれ違う生徒さんたちから必ず「おはようございます。」や「こんにちは。」のフレッシュでとても良い印象を受けたのを今でも覚えています。私自身若い人たちからパワーをもらっています。

その後、各科の代表生徒から科の特徴や資格の話などが紹介されました。また部活動紹介もおこなわれ、各部が思考をこらした紹介をしました。新入生の表情も次第に和らいでいきました。

対面式・部紹介

入学式の翌日四月十日(火)に対面式・部紹介がおこなわれました。対面式では生徒会長の表小晴さんが歓迎の言葉を述べ、新入生代表の三浦愛翔さんがお礼の言葉をのべました。